

まちかど未来塾 だより



11月(November)

	mon	tue	wed	thu	fri	sat
					1	2
第1週						小平ペアプロ④ 14:00~16:00
	4	5	6	7	8	9
第2週				親カフェふらっと 10:00~12:00	まちかど英会話 10:30~12:30	
	11	12	13	14	15	16
第3週				小平4中	期末テスト	小平ペアプロ⑤ 14:00~16:00
	18	19	20	21	22	23
第4週						
	25	26	27	28	29	30
第5週			武蔵村山ペアプロ ⑤			小平ペアプロ⑥ 14:00~16:00

17日(日) 発達支援4回連続講座 「思春期の発達障がいの子もたち~その理解と対応~」
山崎順子先生in武蔵村山市 参加希望の方は芋生まで



Mirai Letter 79



Who moved my cheese?(チーズはどこへ消えた?)

台風の被害、その爪痕を目にする度に「海水温の上昇」による地球温暖化について考えさせられます。

私たちは一度「快適で楽な暮らし」を手に入れると「もっと、もっと」と、その快適さの最上級を手に入れたいと思います。「ここがちょうどよい」と、そこそこのところで落ち着く→判断できるヒトはどれだけいるのかを占めているのでしょうか? 「もっと儲かる、もっともっと」と今までどれだけ自然と共に生きる事より自然を一方向的に奪ってきたことか、自然豊かな地球も「これ以上は放っておけない、全てを失うことに繋がりがねない」との警告なののでしょうか? 台風の威力は増し、その波のうねりの高さを計算し、より高い防波堤を築いても自然の力には及ばない~自然界の営みは人が計算して算出できるようなレベル(到底及ばない)ではないようです。今後、河川の氾濫など、想定できる水害に対して「より高い防波堤を立てる-インフラ整備を充実させる」~これは今後の災害対策の手段であって目的ではない事は確かです。

いろいろと起こる変化の対応を考える~「チーズはどこへ消えた?」という物語を思い出しました。この物語の登場人物は2匹のネズミと2人の小人だけで内容はとてもシンプルなものです。「ある予期せぬ状況の変化をどうとらえるか」がテーマです。単細胞のネズミたちと頭脳明晰な小人たち~彼らが同じ困難な状況を迎えたときに取った対応の仕方、その先の人生が劇的に変わる~その人の考え方ひとつで人生はいろいろな方向へ向かいます。「状況が変わったら自分も変わり変化に対応する!」「小さな変化に気付く事、そつすればやがて訪れる大きな変化につまぐ備えることができる」~単純なこの物語から「台風被害や異常な大雨」を考えると地球全体として「小さな変化」を知ってはいても「見て見ぬふり、地球上のどこかの国の話しでしょう?」くらいにしか捉えられていなかった、、、「即、行動!」ができなかった、、、今、気付いたのであれば個人単位でもできる事を行う。

環境保護活動家スウェーデンの16歳、クレタ・トゥーンベリさんはニューヨークで行われる「国連の気候変動会議」に出席するために飛行機では移動せずCO2排出量ゼロのヨットで2週間をかけて現地入りしました。彼女の徹底ぶりの言動を「元気の良いお嬢さん」と称したトランプ大統領は地位や名誉を手に入れ、「真実が見えなくなってきたらトランプタワーの裸の王様」といったところでしょうか? (T.Imou)